

授業目的公衆送信補償金制度

「利用報告」への 入力の手引き

～ 目 次 ～

1	報告が必要な利用と、不要な利用	・・・ 1
1-1	報告が必要な例	・・・ 1
1-2	報告が不要な例	・・・ 1
2	複数の著作物を一緒に利用した場合の報告の仕方	・・・ 3
3	報告項目の説明 (1) ～ (2)	・・・ 4
	(3)	・・・ 5
	(4)	・・・ 6
	(5) ～ (7)	・・・ 7
	(8) ～ (11)	・・・ 8
	(12) ～ (13)	・・・ 9
	問い合わせ先	・・・ 9
	【参考資料】 著作物等の単位ごとの報告のポイント	・・・ 10

※本制度は最新の「改正著作権法第 35 条運用指針」を参照の上で、ご利用ください
※補償金を権利者に適正に分配するために、利用した著作物に関する情報を、この手引きを
参考に詳しく記入いただきますようお願いいたします

2022年2月

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会
(SARTRAS)

1. 報告が必要な利用と、不要な利用

1-1 報告が必要な例

▼著作権法第35条に基づき、授業(予習、復習を含む)で、第三者(他人)の著作物を「公衆送信※」した場合

※公衆送信の例

教員から児童・生徒・学生に、インターネットなどの回線を使って第三者の著作物を掲載した教材のデータを送ったり、オンライン授業で教員が児童・生徒・学生に第三者の著作物そのものや、第三者の著作物を掲載した教材を見せたり、聞かせたりすること(児童・生徒・学生が同様のことを行った場合も対象です)。

1-2 報告が不要な例

▼著作権法第32条の「引用」の要件を満たす場合

引用は、①公表された著作物であること ②公正な慣行に合致すること ③報道、批評、研究その他の引用の目的上で正当な範囲内で行われること、が条件です。具体的には、以下の点に注意する必要があります

- A) 他人の著作物を引用する必然性があること
- B) カギカッコをつけるなど、自分の著作物と引用部分とが明瞭に区別されていること
- C) 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること(自分の著作物が「主」、引用する著作物が「従」)
- D) 出所(出典)の明示がなされていること

※実際に引用に該当するか否かは、上記の要件をもとに個別にご判断をお願いします。

▼教員または児童・生徒・学生が「自分が創作し、著作権を有する著作物」を自分自身で公衆送信した場合

→ 第三者の著作物が含まれている場合には、第三者の著作物については報告が必要

▼対面授業で著作物をコピーして配付するなど、以前から無許諾・無償で可能だった複製を行った場合

→ ただし、紙にコピー(複製)した著作物を公衆送信した場合は報告が必要

▼すでに公開されている一般のウェブサイトや YouTube 等の URL を児童・生徒・学生に示した
だけの場合

- ただし、授業用に作成しアップロードした教材や動画を閲覧させる（運動会等の特別活動をリアルタイムストリーミングする場合も含む）ために URL を示す場合は、第三者の著作物を利用した教材をアップロードした段階で補償金の対象となるので**報告が必要**

▼学習者用デジタル教科書を、本来の目的で使用するに伴う著作物の利用

- 学習者用デジタル教科書に掲載された一部の作品や写真等を抜粋して、別途、教材を作成したり、その教材を学習者に向けて配信したりするなど、「学習者用デジタル教科書の使用」と言えないような場合は**報告が必要**
- 学習者用デジタル教科書と一体的に使用されているデジタル教材、指導者用デジタル教科書（教材）、紙の教科書をスキャンした電子媒体を授業目的公衆送信する場合は**報告が必要**

▼「遠隔合同授業等※」で著作物を使った場合

- 配信側の教室に教員と児童・生徒・学生がいるリアルタイムの遠隔合同授業等（※）は無許諾・無償で可能なため補償金制度の対象外。ただし、遠隔合同授業等の様子を録画し、公衆送信した場合は報告が必要

※遠隔合同授業等とは

【配信側】

教員と児童・生徒・学生（教室）

【著作物は紙にコピーして配付】



【受信側】①②のいずれも該当

①教員と児童・生徒・学生（教室）

②児童・生徒・学生のみ（教室以外も可）

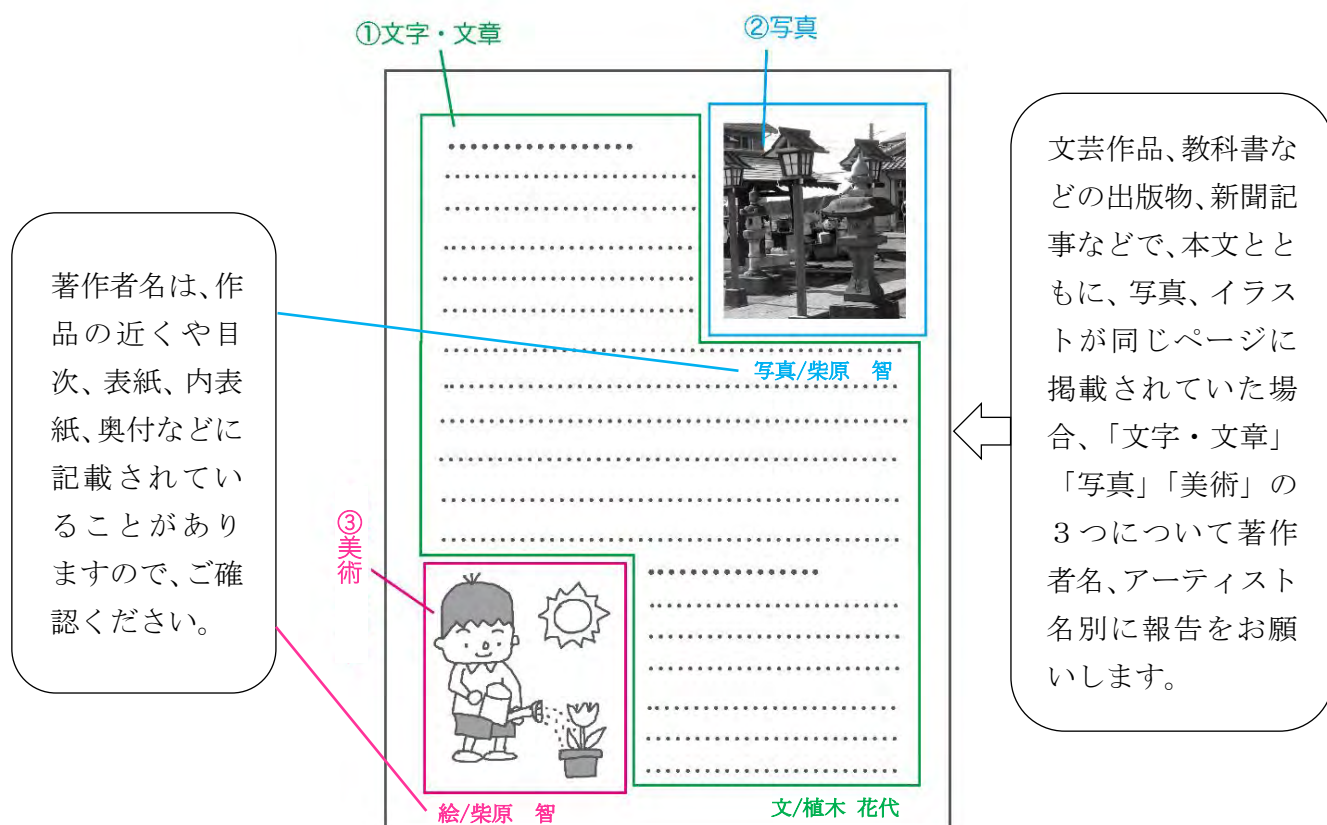
※授業を「対面」と「オンライン」で同時に行う場合でも、以下の2つの例の場合はいずれも**報告が必要です**

- A) 対面授業中の児童・生徒・学生のタブレット、パソコンなどに教材（第三者の著作物を含む）を公衆送信した（**上記の「遠隔合同授業等」に該当しません**）
- B) その授業の教材（第三者の著作物を含む）を授業の事前、事後に児童・生徒・学生に公衆送信した

2. 複数の著作物を一緒に利用した場合の報告の仕方

複数の著作物を1教材に利用した場合は、必ず別々に報告してください

公衆送信した1つの教材(1つのファイル)に複数の著作物が含まれている場合は、著作物単位で別々に報告をお願いします。1つの教材に3つの著作物があれば、必ず3つを報告してください。



※上記の報告例＝同じ書籍の1ページから3つを報告。報告項目の(1)～(3)と(9)以降は例示を省略

	(4) 著作物の 入手・掲載元 の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲 載元名・放送局名	(7) 著作物名・ タイトル・見出 し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・ アーティスト名・出演者 名・制作者名
①	書籍・本(電 子版を含む)	文字・文章	小説 四季	第2章 夏	植木花代
②	書籍・本(電 子版を含む)	写真	小説 四季		柴原 智
③	書籍・本(電 子版を含む)	美術(絵画・版画・イラスト・ 絵本などの挿絵・書道・図鑑 の細密画・彫刻や人形など 立体作品の写真など)	小説 四季		柴原 智

※検定教科書の場合、本文や写真、イラスト等の説明文など、原則としてすべてが著作物です。従って、検定教科書の一部を公衆送信する場合には、本文も含めて利用範囲に含まれるすべての著作物について、教科書名ではなく、それぞれの著作物名の報告をお願いします。

3. 報告項目の説明

各報告項目について可能な限りの入力をお願いします（同じ内容は、コピーして貼り付けてください）。不明な項目については空欄とし、「不明」「分からない」などの入力はいしないでください。

本協会指定の報告対象期間に公衆送信した著作物について、公衆送信するごとに報告してください。「教員等がサーバーにアップロードした著作物に、履修者等がオンデマンドでアクセスする方式」の場合は、アップロード後に履修者等がアクセス可能になった日が報告対象期間内であれば、報告をお願いします。

＜例＞ ある教育機関の報告対象期間が「6月」だった場合

- ① 6月15日にアップロードし、同時にアクセス可能 ⇒ 報告が必要
- ② 5月30日にアップロードし、6月2日にアクセス可能 ⇒ 報告が必要
- ③ 5月30日にアップロードし、同時にアクセス可能(対象期間内にアクセス可能)
⇒ 報告は不要

※いずれの場合も、履修者等がその教材にアクセスした都度の報告は不要です。ただし、対象期間内にリアルタイムのオンライン授業で画面共有したり、メール等で送信したりするなどの公衆送信を別途行った場合は、それぞれ追加で報告が必要です。

(1) 教科等名・授業科目名

教科（授業）名を入力してください。

＜例＞ 国語、算数、社会、物理、数学、経済学概論 など

(2) 学年

児童・生徒・学生等の学年について、数字だけを入力してください（「年」は不要）。

複数学年が参加の場合は「1、2」などを入力してください。学年がとくにない場合は空欄にしてください。

(3) 履修者等の人数（合計）

= 必ず人数を入力してください

著作物の公衆送信先の児童・生徒・学生の人数を入力してください。

<例> 10、30、40 など

注1 例えば、1年生の1～5組の授業で同じ著作物を、それぞれ1回利用した場合は、1～5組の合計人数（例えば200）を入力してください。その上で、備考欄に「5クラスで利用」などを入力してください。

注2 同じ著作物を同じクラスに複数回、メール等で送信した場合は、その合計人数（30人に3回送信なら90）を入力してください。その上で、備考欄に「3回送信」などを入力してください。

注3 教員がLMSなどにアップロードした教材に、履修者がオンデマンドでアクセスする方式の場合は、アクセス権限がある履修者の人数（＝クラスの数）を入力してください（アクセス回数の累計ではありません）。

(4) 著作物の入手・掲載元の分類

プルダウンメニューの中から、どれか適切なものを必ず1つ選択してください。プルダウンメニュー以外は入力しないでください。

著作物等を利用した授業や運動会、学芸会などの様子（例えば、楽曲の演奏・歌唱、文芸作品の朗読、ダンスや演劇など）を送信した場合や、それらの様子を収録した録音・録画物を送信した場合には、利用した著作物名等ごとに、その入手元を選択してください。

- ▽ 書籍・本（電子版を含む）
- ▽ 雑誌（電子版を含む）
- ▽ 新聞（電子版を含む）
- ▽ 検定教科書
- ▽ 学習教材（付属CDなども含む）
- ▽ 指導用資料（付属CD・教師用指導書・指導者用デジタル教科書なども含む）
- ▽ 学習者用デジタル教科書・教材
- ▽ 試験問題
- ▽ その他の刊行物
- ▽ 音楽CD・レコード（学習教材・指導用資料は除く）
- ▽ ビデオ・DVD・ブルーレイ（学習教材・指導用資料は除く）
- ▽ その他の録音・録画物（授業での合唱・演奏・ダンス・演劇などを録音・録画したものを含む）
- ▽ テレビ番組（同時配信・見逃し配信を含む）
- ▽ ラジオ番組（同時配信・見逃し配信を含む）
- ▽ インターネット
- ▽ 授業での合唱・演奏・ダンス・演劇など（生配信）

※「**検定教科書**」とは、文部科学大臣の検定に合格し、小中高校等の授業で使用される教科書のことです。

大学等で教科書として指定する専門書等は「書籍・本」を選んでください。

(5) 著作物の分類

プルダウンメニューの中から、どれか適切なものを必ず1つ選択してください。プルダウンメニュー以外は入力しないでください。

- ▽ 文字・文章
- ▽ 写真
- ▽ 美術（絵画・版画・イラスト・絵本などの挿絵・書道・図鑑の細密画・彫刻や人形など立体作品の写真など）
- ▽ デザイン（デザインされた文字・タイトルや本文を囲む模様や柄など。布や壁紙の模様なども含む）
- ▽ 図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）
- ▽ マンガ
- ▽ 試験問題
- ▽ 楽譜・歌詞
- ▽ 音楽（CDや音楽配信など市販音源・音のみ・動画なし）
- ▽ 音楽（CDや音楽配信など市販音源以外・音のみ・動画なし）
- ▽ 音楽以外の音声（音のみ・動画なし）
- ▽ 映画
- ▽ 放送番組
- ▽ 授業用資料映像
- ▽ その他の動画
- ▽ アニメーション・ゲーム映像
- ▽ コンピュータプログラム

※「その他の動画」の例：プロモーションビデオ、YouTube等への個人投稿動画、合唱・演奏・ダンス・演劇などの動画（授業での生配信を含む）など

(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名

著作物の入手・掲載元の書籍・雑誌などの出版物名や、新聞名、放送局名、CD等のアルバム名、ウェブサイト名などを入力してください。

(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名

出版物内の著作物の題名やタイトル、記事の見出し、曲名、番組名（番組の中から利用した著作物名は別途）などを入力してください。

※（6）は利用目的の著作物が掲載・利用されている媒体名を、（7）は利用目的の著作物そのものの題名などを入力していただくものです。（6）と（7）の入力内容が重複することがあっても構いません。

(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名

著作者名、日本語訳・外国語訳の場合は翻訳者名、アーティスト名、出演者名、制作者名などを入力してください。

複数の著作者や出演者などをご存知の場合は、別々の行に入力してください。例えば、利用した著作物に2人の著作者がいる場合（共著など）は、別々に2件の入力をお願いします。

検定教科書等については、編者の名前ではなく、利用した箇所の本文や著作物の著作者名を入力してください。

※不明な場合は、空欄のままで構いません。

(9) 発行・制作元・製作著作

発行・制作元、発売会社名、放送局名、掲載サイトの該当ページのURL※などを入力してください。

※URLが正確でないと、該当ページの閲覧と確認ができません。URLを張り付けた後、ご自身でクリックするなど、正しいかどうかの確認をお願いします。

(10) 発行・発売時期・放送年月日

書籍や新聞の発行日、CDやDVDの発売日、放送番組の放送日など、その年月日を入力してください。年は元号でも、西暦でも構いません。日付が分からない場合、年・月まで入力をお願いします。

<例> 2018年9月2日、平成30年8月2日 など

(11) 利用した箇所・コーナー名・分量

利用した著作物の利用箇所、著作物が掲載されていた該当ページのURL※、分量を必ず入力してください。出版物などの場合は、何ページから何ページまでを利用したのかを具体的に明記してください。

放送番組であれば「開始から10分のところから7分間」とか「〇〇ニュースの××の特集コーナー」などと記入してください。

<例> P21～P22、P45、1枚、10秒、など

※URLが正確でないと、該当ページの閲覧と確認ができません。URLを張り付けた後、ご自身でクリックするなど、正しいかどうかの確認をお願いします。

(12) 個別の製品番号など

I S B N、I S S N（雑誌番号）、雑誌コード、製品番号、J A S R A C 作品コード、D O I など、著作物や製品によっては個別の番号、コードなどがつけられている場合があります。分かれば入力をお願いします。

(13) 備考

利用した著作物とその権利者を特定するために参考になる情報などを、ご自由に入力してください。(12) でコードを入力した場合は、コード名を入力してください。

■問い合わせ先■

入力の方法などについて、ご不明の点がありましたら、下記の委託先までお問い合わせください。

また、入力内容に関して、教育機関あてにお問い合わせをさせていただくことがありますので、ご承知おきください。

【委託先】 一般社団法人 輿論科学協会

〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6

電話 : 0120-551-346 (通話料無料)

平日 9:30~17:00 (土日祝を除く)

メール : jugyomokuteki@yoron-kagaku.or.jp

ウェブサイト : <https://www.yoron-kagaku.or.jp>

【参考資料】

著作物等の単位ごとの報告のポイント

ここまでのご説明で、著作物等の単位ごとに入力していただくようお願いしてきましたが、出版物や映像コンテンツ等の例を引くまでもなく、実際にはほとんどの著作物等は、それ自体が複数の著作物等から構成され、成り立っています。

次ページからは、主なコンテンツについて、著作物等の単位ごとにご報告いただく際のポイントをまとめましたのでご参照ください。

	ページ
(1) 新聞	11
(2) 書籍・雑誌	13
(3) 検定教科書・教師用指導書・デジタル教科書	15
(4) 入試問題	17
(5) 学術論文	19
(6) 脚本・シナリオ	21
(7) 美術	23
(8) 音楽①	25
(9) 音楽②	27
(10) 放送番組	29
(11) 映像作品(出演者)	31
(12) インターネット	33

(1) 新聞

<例1>

新聞記事を公衆送信した場合は、記事の文章だけを利用したのか、写真や図表も利用したのか分かるように、別々に報告をお願いします。

③図表

※2021年3月時点。料金は税込み。各都市の1位の事業者で比較。東京はNTTドコモ

①記事

「安さ」東京2位に
「躍進」後押し

携帯新プラン

20ギガ 月額2973円

②写真

※上記の新聞記事の報告例

報告項目の(1)～(3)と(9)以降は例示を省略

	(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
①	新聞（電子版を含む）	文字・文章	●●新聞	携帯新プラン「躍進」後押し	●●新聞
②	新聞（電子版を含む）	写真	●●新聞	政府の要請を受けて国内の携帯料金は下がっている	●●新聞
③	新聞（電子版を含む）	図表(地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど)	●●新聞	携帯電話料金の国際比較	●●新聞

新聞記事のひとかたまりの中には、メイン記事、サブ記事、写真、図表、などの要素があります。別々に報告をお願いいたします。

[illegible]

報告項目の(1)～(3)と(9)以降は例示を省略

	(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
①	新聞（電子版を含む）	文字・文章	▲▲新聞	五輪のジェンダー平等 本気度は	○○○子さん
②	新聞（電子版を含む）	写真	▲▲新聞	○○○さんの写真	撮影者●●●男
③	新聞（電子版を含む）	文字・文章	▲▲新聞	掲げる「多様性と調和」多難	▲▲新聞社
④	新聞（電子版を含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	▲▲新聞	東京五輪・パラリンピックの五つの柱と主な具体的目標	■●デザイン事務所

(2) 書籍・雑誌

【1】書籍を利用したとき

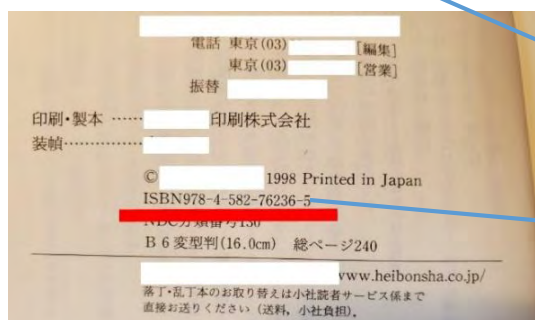
書籍利用の際は「ISBNコード」の入力をお願いします

書籍（専門書、辞事典、図鑑等を含みます）に掲載された著作物を利用した場合、出典を特定するために、利用報告には他の項目に加え、「(12) 個別の製品番号など」の欄に「ISBNコード」の入力をお願いします



本のカバー裏表紙に印刷された上段のバーコードとともに記載されている「978」からはじまる13桁（－ハイフンを除く）の数字を入力してください

下段のバーコードとともに記載されている数字はISBNコードではありませんのでご注意ください



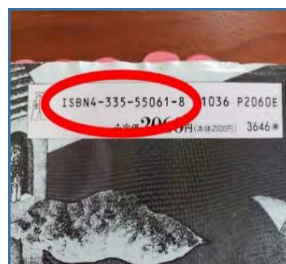
最初に「ISBN」と付いている数字も上段バーコードと同じ13桁のISBNコードです

カバーがない場合、通常は最終ページ近くにある「奥付」にもISBNコードが記載されています

本の奥付には初版の発行年月日が記載されています。書名、著者名、出版社名、利用したページ番号、ISBNコードとともに入力してください



カバー裏表紙に「978」からはじまる13桁のISBNコードと、10桁の旧規格コードが併記されている場合は、13桁の数字を入力してください



カバー裏表紙にバーコードがない場合や、奥付も含め、10桁の旧規格コードしか記載されていない場合は、10桁の数字を入力してください

学校に直販された教材など、書店等の一般市場に流通していない出版物にはISBNコードが記載されていない場合があります。書名や出版社名、著者名、発行年月などの入力をお願いします

※「ISBNコード」とは、図書の識別用に設けられた13桁の数字（旧規格は10桁）で表示される国際規格コードで、書名、著者名、発行年等を特定することができます

【2】雑誌を利用したとき

雑誌利用の際は雑誌名、出版社名、発行日（月刊誌は年月、週刊誌の場合は年月日）、記事タイトル、ページ番号、雑誌コード等の入力をお願いします

雑誌名

発行日

裏表紙の左端など

表紙

写真

図表

記事

署名記事の場合は執筆者名を入力してください

裏表紙の下端など

出版社名

裏表紙にある「雑誌コード」(下)や、「第〇巻第〇号」(巻号表示=左)を、「(12) 個別の製品番号など」の欄に入力いただくと、書誌の特定が容易になります。できるだけ入力するようお願いいたします(一般書店等に流通していない雑誌には記載がない場合があります)

記事のタイトルを「(7) 著作物名・タイトル・見出し」の欄に入力してください。特集記事の総タイトルがある場合は、利用ページの小タイトルとともに入力してください

雑誌コード: 14211-6

雑誌: サライ

発行日: 2021年6月号

巻号: 第33巻第6号

発行・発売: 2021年5月10日

出版社: 小学館

Shogakukan 2021
Printed in Japan

特別価格 ¥50円
本体 ¥64円

書籍、雑誌利用の際の入力例 ((4) 以後の欄。(1)～(3) (5)についても入力の手引きに沿って入力してください)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名(書籍名・アルバム名・サイト名等)	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名	(9) 発行・製作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など
書籍・本(電子版を含む)	ネット時代の哲学入門		本野太郎	書協出版	2020年1月6日(初版)	P25～p27	9784582762365
雑誌(電子版を含む)	サライ	山は日本人の心のふるさと 山と日本人	筆山花子	小学館	2021年6月号	P15	14211-6 第33巻第6号
雑誌(電子版を含む)	週刊時事報道	総力特集 「五輪とワクチン」		雑協出版	2021年5月28日号	p 35～p 37	20054-5/28

(3) 検定教科書・教師用指導書・デジタル教科書

1. 検定教科書・教師用指導書から著作物を利用した場合の入力について

検定教科書や教師用指導書（付属データを含む）は多くの著作物から成っています。利用した個々の著作物の全てについて、以下のように具体的にご記入ください。

A 検定教科書からの利用

「(5) 著作物の分類」に紐づく「(7) 著作物名・タイトル・見出し」の記入において、特に迷いやすい部分については、以下をご参照ください。

また、検定教科書は原則4年ごとに改訂されるため、「(10) 発行・発売時期」に**教科書奥付にあります[検定済年もしくは発行年]もご記入**ください。

▽文字・文章：本文（掲載されている文章作品を含む）のほか、脚注・側注、コラム、手引き・練習問題、学習のまとめ、巻末資料など、**どの文章を利用したかが具体的にわかるようにご記入**ください。

▽写真：写真の下部などに資料番号、写真タイトル、紹介文などが記載されていますので、**それらの情報をご記入**ください。

▽美術：国語や道徳の挿絵のほか、さまざまなキャラクター、図工・美術の絵画など、多くの美術著作物が掲載されていますので、**それらを特定できるようにご記入**ください。

▽図表：グラフ、地図、模式図、説明図、リズム譜などの図表周辺に資料番号、図表（図版）タイトル、紹介文などが記載されていますので、**それらの情報をご記入**ください。
また、理科の実験や音楽の楽器など、学習上の説明や手順を示したものも図表に含まれます。

▽楽譜・歌詞：**各曲名をご記入**ください。曲名のない楽譜や創作等の譜例は**周辺情報をご記入**ください。なお、図形譜やリズム譜のみの場合は「図表」へご記入ください。

B 教師用指導書からの利用

1 指導書掲載著作物の利用については、上記Aと同様にご記入ください。

2 **指導書付属データ**の利用については、DVD-ROM等の場合でも、下記の報告例のように**利用した著作物ごとになるべくその詳細をご記入**ください（あわせて次頁[C]もご参照ください）。

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名	(9) 発行・制作元・製作者	(10) 発行・発売時期・放送年月日
指導用資料（付属CD・教師用指導書。指導者用デジタル教科書なども含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	新しい社会 歴史 教師用指導書 D V D-R O M	16世紀ごろの世界	不明	東京書籍	令和3年発行
指導用資料（付属CD・教師用指導書・指導者用デジタル教科書なども含む）	音楽（CDや音楽配信など市販音源以外・音のみ・動画なし）	小学生の音楽6 鑑賞用 C D Disc 1 DCT-3309	ハンガリー舞曲 第5番・トラック13～19	ブラームス作曲/シュメリング編曲・ウィーンフィル、アバド指揮	教育芸術社・UNIVERSAL MUSIC LLC	令和2年発行

2. デジタル教科書から著作物を利用した場合の入力について

学習者用デジタル教科書からの利用については、以下の注意事項をご参照ください。

- A アカウントを持つ児童生徒や教師が、**各自の使用する端末上で学習者用デジタル教科書をそのまま使用する限りにおいては、利用報告に記載する必要はありません。**
- B 一方、下記1～3のような方法で、学習者用デジタル教科書及びそこに掲載された著作物やページを公衆送信利用したときは、**利用報告に記載する必要があります**（記入の方法については、検定教科書・教師用指導書の注意事項をご参照ください）。

ただし、下記1～3いずれにおいても、**校内に物理的に設置されたサーバーを使用して校内での送受信となる場合は公衆送信に当たらないため、利用報告に記載する必要はありません。**

1 画面の公衆送信（画面共有）

- ・ある端末の画面を、授業支援システムやネットミーティングシステムを使い、各自の端末で共有したり大画面に提示したりする。

※ただし、遠隔合同授業等での遠隔地間の画面共有は利用報告への記載の必要はありません。

2 著作物のデジタルデータの公衆送信（素材や教材の共有）

- ・掲載された一部の著作物又はページを抜粋したデジタルデータや、それらを利用して作成した教材のデジタルデータを、児童生徒がアクセスできるようにサーバーにアップロードする。

※紙の教科書及びそこに掲載された著作物やページのスキャンデータをこのように利用する場合も利用報告に記載する必要があり、学習者用デジタル教科書も同様の扱いとなります。

3 授業又は授業動画の公衆送信（オンライン授業〔遠隔合同授業等を除く〕）

- ・児童生徒がいない場所での教師の授業を、ネットミーティングシステムを使い、別の場所にいる児童生徒にリアルタイムで送信する。
- ・教師の授業を収録した動画を、児童生徒がアクセスして視聴できるようにサーバーにアップロードする。

※紙の教科書及びそこに掲載された著作物やページをこうしたオンライン授業で利用する場合も利用報告に記載する必要があり、学習者用デジタル教科書も同様の扱いとなります。

- C なお、教科書発行者が発行する学習者用デジタル教材（学習者用デジタル教科書と連携して使用されるか否かを問わない）、指導者用デジタル教科書（教材扱い）、指導者用デジタル教材（教師用指導書に付属するものを含む）についても、基本的には上記A、Bに準じますが、商品により利用規約・使用許諾書等に独自又は詳細な記載がなされている場合もありますので、**その内容も確認のうえ、利用報告への記載の要・不要をご判断**ください。

(4) 入試問題

【(複数の著作物から成り立つ) 入試問題を利用した場合の記入例】

●●県立高等学校 令和●年度入学試験問題 国語 大問一

The diagram shows a sample entrance exam question page. It includes a photograph of a flower (タンポポ) with the label '写真' (Photo) and '©花フォトプレス'. Next to it is a diary entry titled '田中花子「花の日記」より' (From Tanaka Hanako's 'Flower Diary'). To the right is a large block of text labeled '素材文' (Source Text). Below the photo and diary is a section with vertical lines for writing answers, labeled '一次の文章を読んで以下の問いに答えなさい' (Read the primary text and answer the following questions). On the right side, there are three colored boxes with arrows pointing to specific parts of the page: a red box for the entire question, a yellow box for the source text, and a blue box for the photo.

入試問題 全体

①文字・文章
著作物「●●県立高等学校令和●年度入学試験問題 国語 大問一」
著作権者「●●県教育委員会」※1

素材文

②文字・文章
著作物「花の日記」
著作権者「田中花子」※2

写真

③写真
著作物「タンポポ」
著作権者「花フォトプレス」※2

- ※1 入試問題の全体の著作権者は、通常、出題の学校または教育機関設置者（学校法人、教育委員会）となります。どの自治体・学校の何年度、どの教科の何番を利用したのかをお書きください。
- ※2 問題中に含まれる素材文や写真などの著作物は一つずつ別に記載して、作品名や著作権者が書いてある場合は(7)、(8)に記載してください。個別の著作物が「不明」でも(6)や(11)に入試問題の情報（この場合「●●県立高等学校 令和●年度」「国語」「大問一」を記載いただくことや、入試過去問集から利用する際は、(6)に書名、(9)に出版社名、(11)に利用箇所のパージ数を記載いただくことで、著作物の権利者が特定できますので、ご協力ください。

【記入例】入試問題原本を利用した場合の記入例。

	(4) 著作物の 入手・掲載元 の分類	(5) 著作物の 分類	(6) 著作物の入手、掲載元名・放 送局名（書籍名、アルバム名、サイ ト名等）	(7) 著作物名・タイトル・見出し・ 番組名	(8) 著作者名・翻訳者 名・アーティスト名・出演 者名・制作者名	(9) 発行・ 制作元・製 作著作	(10) 発行・発 売時期・放送年 月日	(11) 利用した箇 所・コーナー名・分 量	(13) 備考
①	試験問題	文字・文章	●●県立高等学校 令和●年度入試問題 国語	●●県立高等学校 令和●年度入試問題 国語	●●県	●●県	令和●年	大問一	
②	試験問題	文字・文章	●●県立高等学校 令和●年度入試問題 国語	花の日記	田中花子	●●県	令和●年	大問一	
③	試験問題	写真	●●県立高等学校 令和●年度入試問題 国語	タンポポ	花フォトプレス	●●県	令和●年	大問一	(※写真にタイトルがない場 合、備考に何の写真か記入く ださい) 例「タンポポの写真」

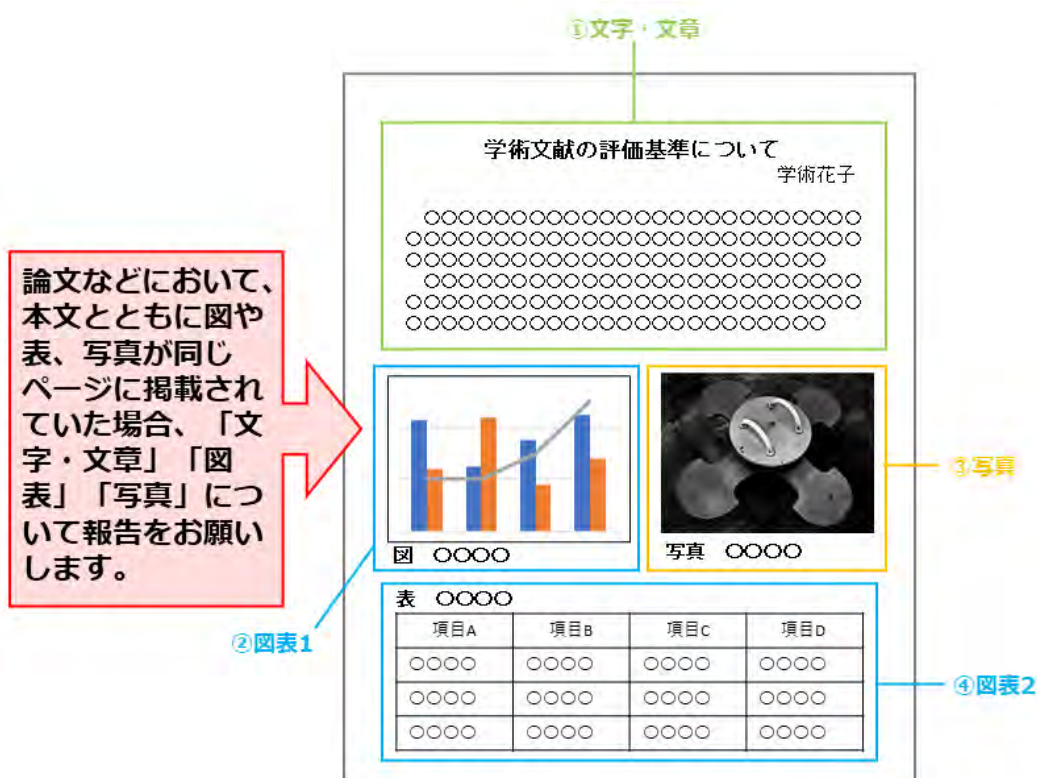
【記入例】入試過去問集から入試問題を利用した場合の記入例。掲載された出版物（過去問集）のタイトル・出版社・利用箇所を来ていただくことが重要です。

	(4) 著作物 の入手・掲 載元の分類	(5) 著作物の 分類	(6) 著作物の入手、掲載元名・放 送局名（書籍名、アルバム名、サイ ト名等）	(7) 著作物名・タイトル・見出し・ 番組名	(8) 著作者名・翻訳者 名・アーティスト名・出演 者名・制作者名	(9) 発行・ 制作元・製 作著作	(10) 発行・発 売時期・放送年 月日	(11) 利用した箇 所・コーナー名・分 量	(13) 備考
①	書籍・本	文字・文章	「入試過去問精選」	●●県高校入試 令和●年度 国語	●●県	△△出版	令和●年△ 月■日	P123～124	大問一を利用
②	書籍・本	文字・文章	「入試過去問精選」	花の日記	田中花子	△△出版	令和●年△ 月■日	P123～124	●●県高校入試 令和●年度 国語
③	書籍・本	写真	「入試過去問精選」	タンポポ	花フォトプレス	△△出版	令和●年△ 月■日	P123～124	(※写真にタイトルがない場 合、備考に何の写真か記入く ださい) 例「タンポポの写真」

(5) 学術論文

利用した論文の中に複数の著作物が掲載されている場合は、必ず別々に報告してください

教材として公衆送信した学術論文の中に複数の著作物が含まれている場合は、著作物単位で別々に報告をお願いします。論文全文ではなく一部のページを使用した場合は、該当ページに掲載されている著作物を報告してください。



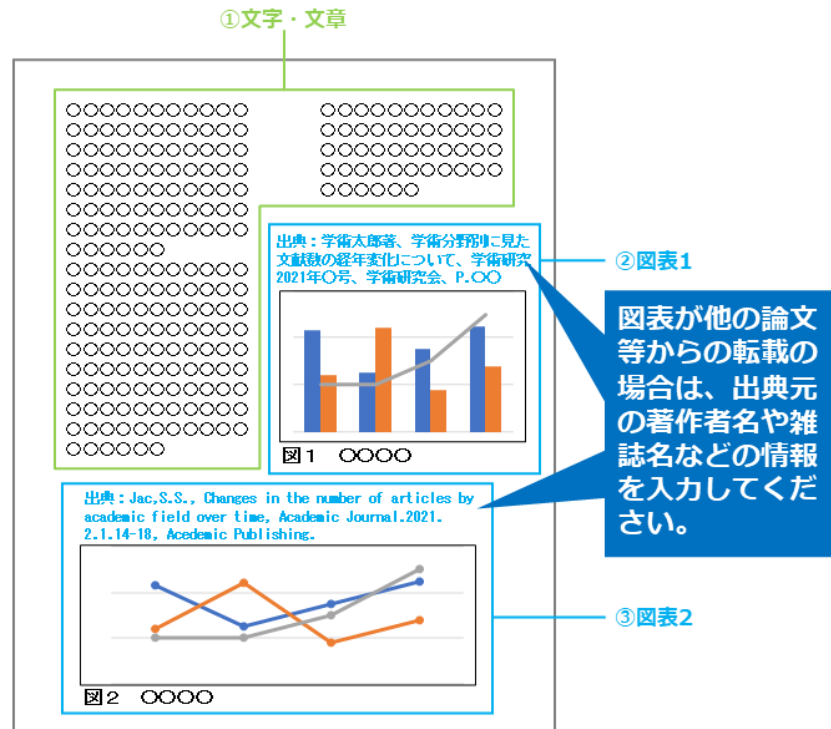
上記の報告例＝同じ論文の1ページから4つを報告。※報告項目の(1)～(3)と(10)以降は例示を省略

	(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名	(9) 発行・制作元※ 制作著作
①	雑誌（電子版を含む）	文字・文章	学術雑誌、2021年、〇巻、〇号	学術文献の評価基準について	学術花子	学術論文学会
②	雑誌（電子版を含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	学術雑誌、2021年、〇巻、〇号	学術文献の評価基準について	学術花子	学術論文学会
③	雑誌（電子版を含む）	写真	学術雑誌、2021年、〇巻、〇号	学術文献の評価基準について	学術花子	学術論文学会
④	雑誌（電子版を含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	学術雑誌、2021年、〇巻、〇号	学術文献の評価基準について	学術花子	学術論文学会

※「(9) 発行・制作元・製作著作」は、論文が掲載されている雑誌や書籍・本の奥付などに記載があります。また、インターネットで電子版を入手した際は、ダウンロード元のページを確認の上、利用した論文の発行・制作元を入力してください。

利用した論文の中に他の論文等から転載した著作物が掲載されている場合は、必ず出典元の情報を報告してください

教材として公衆送信した学術論文の中に他の論文等から転載した著作物が含まれている場合は、該当著作物の出典元情報の報告をお願いします。ただし、本文の中に数行程度の文章が引用として掲載されている場合は、該当する著作物の報告は不要です。



上記の報告例＝同じ論文の1ページから3つを報告。※報告項目の(1)～(3)と(10)(11)は例示を省略

	(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーテIST名・出演者名・制作者名	(9) 発行・制作元・製作著作	(12) 個別の製品番号など※ ¹	(13) 備考※ ²
①	雑誌（電子版を含む）	文字・文章	学術雑誌、2021年、〇巻、〇号	学術文献の評価基準について	学術花子	学術論文学会	ISSN: 000-000	
②	雑誌（電子版を含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	学術研究、2021年、〇号	学術分野別に見た文献数の経年変化について	学術太郎	学術研究会	ISBN: 000000	
③	雑誌（電子版を含む）	図表（地図・学術的な性質の図面・表・グラフなど）	Academic Journal. 2021. 2. 1. 14-18.	Changes in the number of articles by academic field over time	Jac, S. S.	Acedemic Publishing	https://doi.org/10/.....	DOI

※1 「(12)個別の製品番号など」には、出来る限り利用した論文に付与された識別コード（雑誌：ISSN、学術図書：ISBN、電子コンテンツ：DOI）を入力してください。

※2 入力したコードの種類は、上記報告例1、2行目のように番号と一緒に記載していただくか、3行目のように「(13)備考」の欄にコード名を入力してご報告ください。

(6) 脚本・シナリオ

報告例① 脚本家が1人の場合

(報告項目の(1)～(3)は例示を省略)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
書籍・本（電子版を含む）	文字・文章	北の国から 前編	北の国から・第1話	倉本聰



(9) に続く

(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など	(13) 備考
理論社	1981年1月1日	P10～15	9784652071052	ISBN

報告例② 脚本家が複数（共著）の場合

(報告項目の(1)～(3)は例示を省略)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
書籍・本（電子版を含む）	文字・文章	全集 黒澤明〈第2巻〉	酔いどれ天使	黒澤明
書籍・本（電子版を含む）	文字・文章	全集 黒澤明〈第2巻〉	酔いどれ天使	植草圭之助

(報告項目の(4)～(7)は同じ)



(9) に続く

(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など	(13) 備考
岩波書店	1987年12月18日	P125～130	9784000913225	共著。ISBN
岩波書店	1987年12月18日	P125～130	9784000913225	共著。ISBN

報告例③ 原作がある場合

(報告項目の(1)～(3)は例示を省略)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
書籍・本（電子版を含む）	文字・文章	テレビドラマ代表作選集 2011年版	シューシャインボーイ	浅田次郎
書籍・本（電子版を含む）	文字・文章	テレビドラマ代表作選集 2011年版	シューシャインボーイ	鎌田敏夫

(報告項目の(4)～(7)は同じ)



				(9) に続く
(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など	(13) 備考
協同組合日本脚本家連盟	2011年10月10日	P56～61	9784931046344	原作。ISBN
協同組合日本脚本家連盟	2011年10月10日	P56～61	9784931046344	脚本。ISBN

映画等の字幕および吹替翻訳について

海外の古い映画、放送番組等で、作品そのものは著作権の保護期間が満了していても、当該作品の翻訳（字幕・吹替）については、著作権が残っていることがあります。特にデジタル・リマスター版は、翻訳そのものを新しくするケースが多いほか、吹替版については、DVD等とは異なるバージョンの翻訳を利用する場合がありますので、映画、放送番組等の利用報告には『翻訳者名』を記載してください。日本の古い映画、放送番組等の外国語訳についても同様です。

(7) 美術

美術・デザイン・図表の分類

※(5)著作物の分類で美術・デザイン・図表に分類される例

本の表紙の利用

デザイン

表紙(カバー含む)全体を利用した場合は「**デザイン**」と「**美術**」の両方を(5)でお選びください。(表紙をおおうカバーも表紙と同様です)

美術



注

パンフレットやチラシなどの印刷物からの利用もこれを参考にしてください。

画家やデザイナーの名前は以下の部分にあります。

- 表紙 ●そで ●もくじ
- みかえし ●奥付

記事の場合はタイトルの近くやその下の部分に書いてあります。

(名前が書いてなかったり、名前が見つからなくても利用報告を書き、(8)は空欄にしてください)

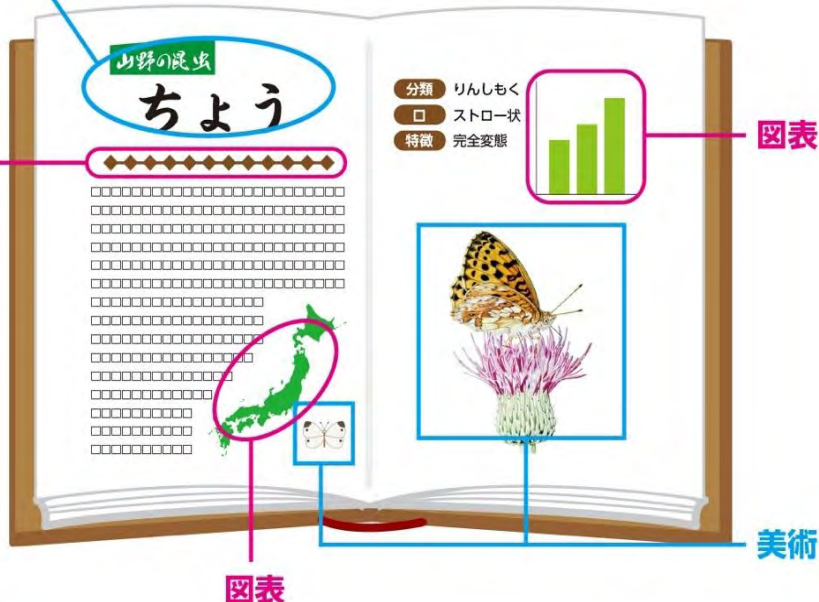
本の中のページからの利用

「**デザイン**」または「**美術**」の可能性がります

明らかな無料フォント以外で創作性を感じるものは「**デザイン**」を、書道は「**美術**」をお選びください。

デザイン

ページや文字や文章をふちどるかざりケイのうち、創作性を感じるものは「**デザイン**」です。(例は次ページをご覧ください。)



他の印刷物やインターネットからの利用も同様です

理科的リアルイラスト:四本充(一般社団法人日本理科美術協会/2021) デザイン:竹田社一朗(日本図書設計家協会/2021) 一般社団法人日本美術著作権連合

これも美術・デザインに分類されます

美術・イラスト・デザインの分野はさまざまな表現があり分かりにくいと思いましたので、分類に悩みそうな表現をまとめました。判断がつかない場合は SARTRAS へお問い合わせください。

■美術編

■理科的リアルイラスト

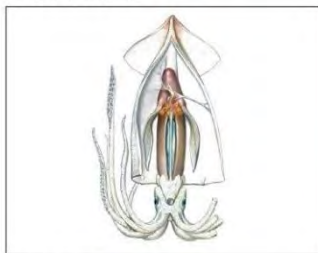
図鑑や理科の教科書などに多く使われるリアルイラスト。動植物などに多く見られる。



イラスト提供：四本充
(一般社団法人日本理科美術協会 / 2021)

■透視図的イラスト

生物の臓器構造の一部分が見えたり、建物や自動車が透けてみえるようなイラスト。



イラスト提供：七宮賢司
(一般社団法人日本理科美術協会 / 2021)

■立体イラスト (写真)

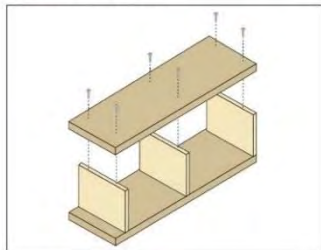
彫刻やフィギュア・ぬいぐるみなどの立体作品の写真は「美術」と「写真」の両方を (5) で選択。



イラスト提供：竹田壮一郎
(一般社団法人日本図書設計家協会 / 2021)

■取扱説明書イラスト

取扱説明書や手順図など文章だけでは伝わりにくいことを説明する時に使われるイラスト。



イラスト提供：吉林優
(一般社団法人日本図書設計家協会 / 2021)

■絵本

絵のみを利用した場合は「美術」として (5) で選択。絵と文を利用した場合は「美術」「文字・文章」両方を選択。



イラスト提供：しばはら・ち
(一般社団法人日本児童出版美術家連盟 / 2021)

■書道

純粹書道や、デザイン書道など、筆で描いた文字や絵などは「美術」として (5) を選択。



書道提供：味岡伸太郎
(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 / 2021)

■デザイン編

■囲み・罫線デザイン



■デザインされた文字



■絵画的な地図



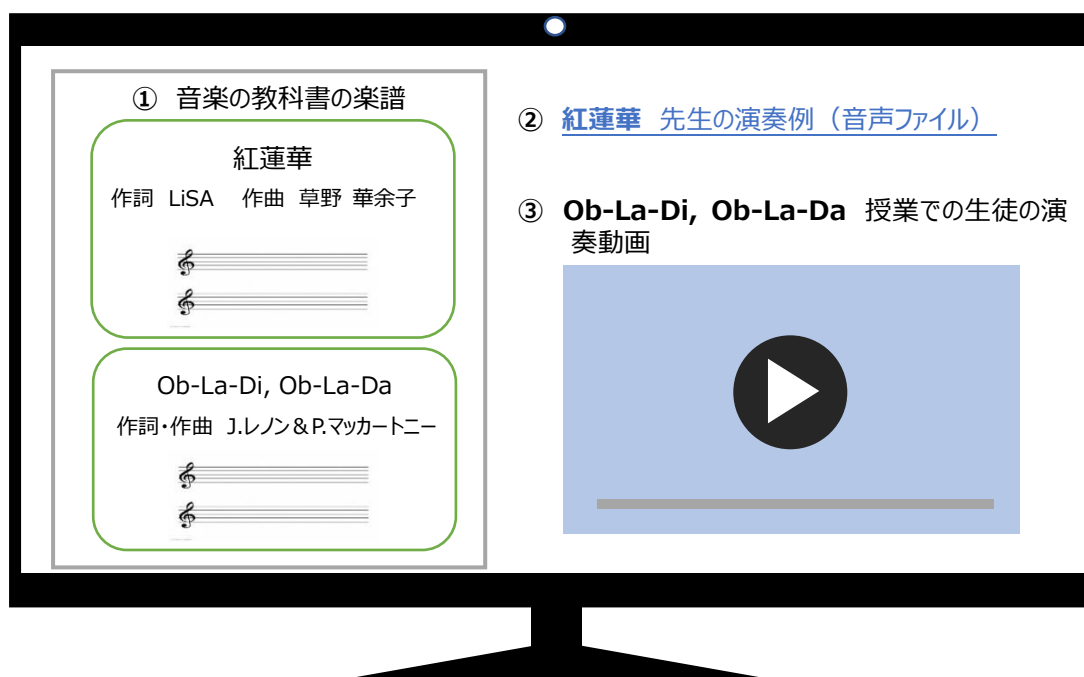
デザイン：竹田壮一郎 (日本図書設計家協会) 一般社団法人日本美術著作権連合

(8) 音楽 ①

音楽の教科書に掲載された著作物を複数利用した場合は、著作物単位に別々に報告してください。楽譜だけではなく演奏動画なども配信した場合はそれぞれ報告してください。

複数の楽曲を異なる方法で利用する場合

例：教科書の楽譜（①）、先生や生徒の演奏（②・③）を利用する場合



記入例 曲ごと・利用方法ごとに分けて報告してください（①は二曲利用のため分けてください）

	(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手先・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル、見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
①	検定教科書（文字・文章）	楽譜・歌詞	高校生の音楽①	紅蓮華	LiSA/草野 華余子
①	検定教科書（文字・文章）	楽譜・歌詞	高校生の音楽①	Ob-La-Di, Ob-La-Da	John Lennon/ Paul McCartney The Beatles
②	その他の録音・録画物（授業での合唱・演奏・ダンス・演劇などを録音・録画したものを含む）	音楽（CDや音楽配信など市販音源以外・音のみ・動画なし）	教師による演奏	紅蓮華	LiSA/草野 華余子
③	授業での合唱・演奏・ダンス・演劇など（生配信）	その他の動画	生徒による演奏	Ob-La-Di, Ob-La-Da	John Lennon/ Paul McCartney The Beatles

(7)の著作物の名称は、教科書やCDなどの製品の名称ではなく、著作物（楽曲）の名称を記入してください。
 (8)の著作者名は、教科書の出版者名ではなく個々の著作物の著作者名を記入してください。アーティスト名もできる限り記入してください。

その他の注意点

次の例のような報告となってしまうと、音楽著作物が特定できず、権利者に分配できませんのでご注意ください。

NGの例

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
インターネット（動画）	その他の動画	放送	ピアノ演奏会	辻井伸行
学習教材（付属CDなども含む）	楽譜・歌詞	高校生の音楽2	Love	教育芸術社

どの楽曲が利用されたか分からないため特定できません。
利用された「楽曲名」を報告してください。

誰が作った「Love」なのか特定できません。
「作詞・作曲者・アーティスト名」などを報告してください。

教員や生徒などが創作した著作物を利用する場合

教員または児童・生徒・学生が作った（創作した）著作物を利用する場合は原則として報告は必要ありませんが、そのような著作物であっても第三者（音楽出版者や著作権管理団体等）に著作権を譲渡しているなど、第三者が権利者となっている著作物（公表済の著作物）を利用する場合は報告が必要です。

（例）著作権管理団体に著作権の管理を委託している教員（作曲家）が、自らの作品を音楽の授業等で利用し、それを公衆送信した場合など。

※市販のCDや放送番組、DVDなどの映像作品を利用する場合は、次ページ以降の(9)音楽②、(10)放送番組、(11)映像作品をご参照ください。

(9) 音楽 ②

CDやレコード、音楽配信などの音楽には、楽曲を作詞、作曲した著作者（作詞家、作曲家）、楽曲を歌い、演奏する実演家（歌手や演奏家などのアーティスト）、CDなどを製作したレコード製作者（レコード会社）の三者の権利が関わってきます。実演家には、音楽CDのジャケットに表示されているアーティストだけではなく、バックで演奏したり、歌ったりするアーティストも含まれます。

音楽が利用され、授業目的公衆送信補償金を分配するためには、著作者、実演家及びレコード製作者の三者を特定する必要があります。そのために、音楽CDなどに表示されている情報を手掛かりに、以下の情報を入力して下さい。

<1> 市販の音楽CDやレコードを利用した場合

「(4) 著作物の入手・掲載元の分類」は「音楽CD・レコード（学習教材・指導用資料は除く）」を、「(5) 著作物の分類」は「音楽（CDや音楽配信など市販音源・音のみ・動画なし）」*を選択したうえで、音楽CD・レコードのジャケットやブックレット、帯などに表示された情報を手掛かりに、以下の情報を入力してください。

「利用した楽曲名」を
記入してください。

「CDを発売したレコード会社」
を記入してください。

「発売年月日」を記入してください。
※CDの裏に20・10・14のように表示されています。

(6) 著作物の入手、掲載元名・放送局名（書籍名、アルバム名、サイト名など）	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名	(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(12) 個別の製品番号など
LiSA 5thアルバム「LEO-NiNE」	紅蓮華	LiSA 作詞LiSA/作曲草野華余子	SONY MUSIC Labels Inc.	2020年10月14日	VVCL-1707
QUEEN GREATEST HITS	We Will Rock You	Queen 作詞作曲 Brian May	UNIVERSAL MUSIC LLC	2011年1月	UICY-15001

「アルバムのタイトル」を
記入してください。

「アーティストの名前」と
「作詞家、作曲家の名前」を
記入してください。

「カタログ番号」を記入してください。
※音楽CDの裏や帯、背などに、アルファベットと数字で「ABCD-1234」のように表示されています。

※ 音楽以外の落語、講談などのCDを利用した場合には「(5) 著作物の分類」は「音楽以外の音声（音のみ・動画なし）」を選択してください。

※ CDやレコードなどの音源を使用せず、演奏や合唱などで音楽を利用する場合には、「(8) 音楽①」をご参照ください。

＜2＞インターネットやラジオ・テレビ放送から入手した音楽を利用した場合

インターネットで販売された音源やラジオ・テレビ放送から入手した音楽は、ジャケットやブックレットのある音楽CDやレコードに比べ、情報が限られています。そこで、以下の事項に留意しつつ、分かる範囲で、情報を入力してください。

No.	留意事項
(5) 著作物の分類	インターネットやラジオ・テレビ放送から入手した場合であっても、音源の種類に応じて「音楽（CDや音楽配信など市販音源・音のみ・動画なし）」、「音楽（CDや音楽配信など市販音源以外・音のみ・動画なし）」または「音楽以外の音声（音のみ・動画なし）」を選択してください。
(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	入手元となった「インターネットサービス・ウェブサイトの名前」（例、Y o u T u b e、S p o t i f y）または「ラジオ・テレビ放送局の名前・放送番組名」（例、●●ラジオ「クラシックの夕べ」）を記入してください。
(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	利用した楽曲名を記入してください。
(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名	利用した楽曲のアーティスト名や作詞家、作曲家の名前を記入してください。
(9) 発行・製作元・製作著作	インターネットから入手した場合には、そのURLを記入してください。
(10) 発行・発売時期・放送年月日	利用した楽曲の発売時期が分かれば、その時期を記入して下さい。分からなければ、ラジオ・テレビ放送であれば放送された日時を、インターネットであれば入手した時期を記入してください。
(12) 個別の製品番号など	Ⓢという表示がある場合には、その後に続く名称を記入してください（例、Ⓢ 2021 ■▲× R e c o r d s Inc.）
(13) 備考	その他楽曲を特定できる情報が表示されている場合には、その内容を記入してください。

(10) 放送番組

毎朝新聞 2021 (令和3) 年5月4日 (火曜日)			
	3 ch JHK	5 ch テレビ全日本	7 ch 関東テレビ
6	6.00 (N)(天) 10朝のひと時▽ ご当地鯉のぼり▽里山の自然 6.50 (N)(天)	5.55 (字) 早起きテレビ▽今日 の特ダネ▽全国早起き自慢	6.00 おはよう体操 6.15 (字) NEWS モーニング▽世界 のニュース▽今朝のいち 推し!
7	00 (解) (字) おはようジャパン ▽今日の話題▽日本列島リ レー中継▽緊迫する世界情 勢	00 (字) (字) お元気ですか▽肩 こり解消法▽近所散歩 ▽介護食品最前線 55 (字) (天)	7.00 (字) テレビ討論▽これか らの日本の教育を考える 55 今朝の名画
8	00 (解) (字) 連続ドラマ 15 (字) がんばれ若者! ホリデ ースペシャル〜学校は今	8.00 (字) ニュース深堀り▽全 国桜リレー⑭▽シリーズ・わ たしのおうち時間充実法	8.00 (字) 名作ドラマ選集「あ なたを信じて」(再) 50 今朝の一曲 55 今朝の一句
9		00 (字) にっぽんの食▽地産地 消と学校給食▽ここまで進 んだ! 野菜の流通革命 55 (字) 知ってるようで知らない 世界▽SDGsって何だろ う?▽生命科学最前線▽ハ シビロコウの生態	9.00 (字) とことん関東▽スタ ジオわいわいトーク▽今日 の本棚▽リモートワーク実 践術▽専門家・何でも解説 55 ふるさと偉人伝
10	00 (N)(天) 10 (字) 私のキッチン▽季節素 材のお弁当 45 (字) 趣味の和裁洋裁▽キル トを楽しむ②	55 3分ショッピング	00 (字) 撮り鉄・乗り鉄大集合 30 (字) 情報交差点▽これから どうなる日本経済▽バリア フリー社会を考える

記入例
参照

記入例

「知っているようで知らない世界」の“ハシビロコウの生態”コーナーから、ハシビロコウの映像と飼育員さんの解説を利用した場合の記入例

(1) 教科等 名・授業科 目名	(2) 学 年	(3) 履修 者等の 人数 (合計)	(4) 著作物 の入手・掲 載元の分類	(5) 著作物 の分類	(6) 著作物 の入手・掲 載元・放送 局名	(7) 著作物 名・タイト ル・見出し・ 番組名	(8) 著作者名・ 翻訳者名・ア ーティスト名・出 演者名・制作者 名	(9) 発行・制 作元・製作 著作	(10) 発行・ 発売時期・ 放送年月日	(11) 利用した 箇所・コーナ ー名・分量	(12) 個 別の製 品番号 など	(13) 備考
理科	2	30	テレビ番組	放送番組	テレビ全日本	知っている ようで知ら ない世界	テレビ全日本	テレビ全日本	2021年5月4日	ハシビロコウ の生態コーナ ーのハシビロコウ の映像と飼育員 さんの解説		番組開始35 分頃から10 分間

ここが
ポイント

入力必須の事項

入力箇所

- ① 放送からの録画であれば、(4) 著作物の入手・掲載元 で「テレビ番組」を選択。

※ 権利者を特定するために、インターネット動画や DVD などと区別するためです。

- ② 放送局名を (6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名 に入力。

※ この「放送局名」は、番組を放送した放送局の名称です。

- ③ 番組名を (7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名 に入力。

※ ドラマでもシーズンが複数あるものは「シーズン2」やサブタイトルを記入してください。

※ ドラマが映画化されたような場合には、テレビ版と映画版の別を記入してください。

- ④ 番組を制作した放送局名や制作会社名を (9) 発行・制作元・製作著作 へ入力。

※ この「放送局名」は番組を制作した放送局の名称です。放送した放送局とは違うことがあります。番組を制作した放送局や制作会社は、番組内で流れるスタッフロールで確認できます。

- ⑤ 放送年月日を (10) 発行・発売時期・放送年月日 に入力。

※ 例えば、月～金の毎日同じ時間に放送されている情報番組やニュースでは、放送年月日の記入がないと番組が特定できません。

- ⑥ 番組内の利用した箇所を (11) 利用した箇所・コーナー名・分量 に入力。

※ 「番組開始 35 分頃から 10 分間程度」「主人公が家を飛び出し、全力で坂を駆け上がるシーン」「○○ニュースの年末の大掃除特集」などと記入してください。

○ 毎日休みなく放送される放送番組は「権利の束」といわれるように、さまざまな著作物等によって構成されており、各権利者に補償金を分配する際、皆さまからの利用報告が唯一の拠り所となります。新聞の番組欄や電子番組表（EPG）なども参考にしながら、ご協力をお願いいたします。

○ 放送番組を授業で利用する動機は、▽脚本・シナリオ研究、▽著名人や公人の発言の紹介、▽個別の著作物等やその評論の紹介、など様々かと思えます。そのような番組を利用する動機となった著作物等については、番組そのものとは別に、できる限り個別に入力をお願いいたします。

(11) 映像作品 (出演者)

＜１＞著作物の分野についての概要は以下の通りです。

取扱う著作物の分野	映像実演 下記（※）をご参照ください。
対象となる著作物	●（４）著作物の入手・掲載元の分類 ・ビデオ、DVD、ブルーレイ ・テレビ番組、ラジオ番組 ・インターネット動画（YouTube等）
	●（５）著作物の分類 ・映画 ・放送番組 ・授業用資料映像（映画・テレビ番組以外の映像作品） ・その他の動画（インターネット動画で、映画・テレビ番組以外の映像作品）

(※)「映像実演」とは、映像作品に出演している俳優やタレント、ナレーター等の「実演家」と言われる方々が持つ権利の分野を指します。

＜2＞ご入力頂く際の留意点は以下の通りです。

No.	入力時の注意点
(5) 著作物の分類	(4) の入手経路がインターネット経由であっても、元々が放送番組のものについては、(5) では、『放送番組』を選択してください。
(6) 著作物の入手・ 掲載元名・放送局名	入手、掲載元別に以下のご入力をお願いします。 ・ビデオ、DVD、ブルーレイ ⇒ 商品情報のURL ・テレビ番組、ラジオ番組 ⇒ 放送事業者名 ・インターネット動画 ⇒ 使用した動画のURL
(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名 ＜必須項目＞	ご利用された映像作品の「タイトル名（番組名）」は省略せずに、正式名称を必ずご入力をお願い致します。 ご入力が無い場合は、出演者の特定ができなくなります。
(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・ 出演者名・制作者名	ご利用された映像作品の出演者名について、お分かりになる範囲でご入力をお願い致します。 例えば、主演俳優のお名前などです。
(9) 発行・制作元・製作著作	映像作品の制作会社または発売社、放送事業者の名称のご入力をお願い致します。

(10) 発行・発売時期・ 放送年月日 <必須項目>	ご利用された映像作品の発行・発売時期として、下記の情報 のご入力をお願い致します。 ・ビデオ、DVD、ブルーレイ ⇒ 発売日 ・テレビ、ラジオ番組 ⇒ 放送年月日 ・インターネット動画 ⇒ 公開日 上記情報をご不明の場合は「第●回」とか「第■話」 といった手掛かりになる情報のご入力をお願い致します。
(11) 利用した箇所・コ ーナー名・分量	映像作品の一部をご利用された場合は、そのコーナーの名 称や●●特集など、手掛かりになる情報のご入力をお願い 致します。
(12) 個別の製品番号 など	市販のビデオ、DVD、ブルーレイをご利用された場合は、 可能な限り入力をお願いします。
(13) 備考	著作物を特定するために手掛かりとなるキーワードやヒン ト（例えば、映像作品のサブタイトルや、インターネットの 動画をご利用された場合は、配信サイト名）になる情報がご ざいましたらご入力くださいますようお願い致します。

(12) インターネット

インターネット上には、様々な著作物等が存在しています。インターネットから著作物等を利用した場合も、(1)～(11)の例を参照して、利用したすべての著作物等を報告してください。例えば、記事、写真、図表の3つを利用した場合は、別々に報告をお願いします。

インターネットから著作物等を利用した場合の特有の報告内容として、「(9) 発行・製作元・製作著作」と「(11) 利用した箇所・コーナー名・分量」については、実際に利用した著作物が表示されている該当ページのURLを入力してください。正確なURLを入力していただかないと、該当ページを閲覧して確認作業をすることができません。入力後にURLをクリックするなどして、正しいかどうかの確認をお願いします。

※報告例 (報告項目の(1)～(3)は例示を省略)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
インターネット (文字・写真・イラストなど)	文字・文章	虎ノ門動物園ウェブサイト	ライオンの生態について	虎ノ門動物園
インターネット (文字・写真・イラストなど)	写真	虎ノ門動物園ウェブサイト	ライオンの親子	虎ノ門動物園



(9) に続く

(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など	(13) 備考
https://www.torazoo.com	2021年2月2日更新	https://www.torazoo.com/photograph/		
https://www.torazoo.com	2021年2月2日更新	https://www.torazoo.com/photograph/		ライオンの親子の写真1枚

インターネットから動画・映像を利用した場合も、その動画等に含まれる著作物等を報告してください。例えば、原作、脚本、音楽等は別々に報告をお願いします。

※報告例 （報告項目の(1)～(3)は省略)

(4) 著作物の入手・掲載元の分類	(5) 著作物の分類	(6) 著作物の入手・掲載元名・放送局名	(7) 著作物名・タイトル・見出し・番組名	(8) 著作者名・翻訳者名・アーティスト名・出演者名・制作者名
インターネット（動画）	その他の動画	〇〇〇プロダクション・ウェブサイト	放課後 前編	原作花子
インターネット（動画）	その他の動画	〇〇〇プロダクション・ウェブサイト	放課後 前編	脚本太郎
インターネット（動画）	その他の動画	〇〇〇プロダクション・ウェブサイト	放課後 前編	ミュージック・スミス

（報告項目の(4)～(7)は同じ） **同じ内容はコピーして貼り付けてください。**



(9) に続く

(9) 発行・制作元・製作著作	(10) 発行・発売時期・放送年月日	(11) 利用した箇所・コーナー名・分量	(12) 個別の製品番号など	(13) 備考
https://www.__production.com	2021年6月3日 アップロード	https://www.__production.com		原作
https://www.__production.com	2021年6月3日 アップロード	https://www.__production.com		脚本
https://www.__production.com	2021年6月3日 アップロード	https://www.__production.com		音楽

（報告項目の(9)～(12)は同じ） **同じ内容はコピーして貼り付けてください。**

※侵害コンテンツを利用しないようご注意ください

インターネット上には、違法にアップロードされた写真、イラスト、マンガ、文章、音楽、映像などの侵害コンテンツも存在しています。

こうした侵害コンテンツを利用しないようご注意ください。